



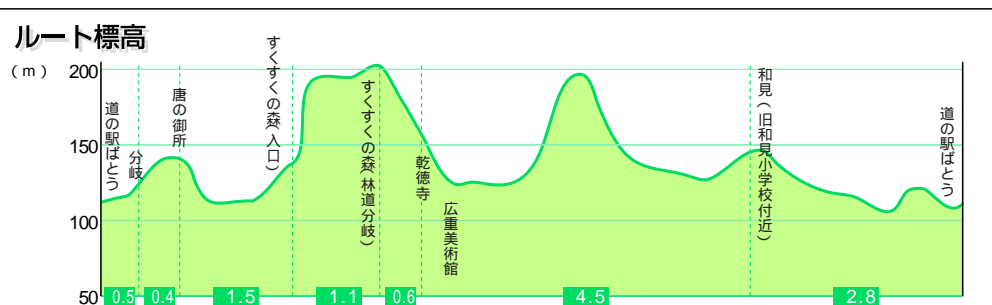
首都圏
自然歩道

関東ふれあいの道

栃木県

30 浮世絵と史跡を見る里のみち 11.4km

このコースは道の駅ばとうを起終点とした周回歩道になっています。
途中には国指定史跡の唐の御所や県指定史跡の武茂城跡、浮世絵を満喫できる広重美術館や美しい里山の広がるすすくの森などがあり、日本の原風景や歴史、芸術を満喫できる 11.4kmのコースです。



踏破認定撮影ポイント



唐の御所 (解説標識)

広葉樹の森の中に唐の御所、姫穴、遠見穴などがあります。その中で一番高い位置にあり、柵で囲まれた唐の御所の前で撮影してください。

コース周辺の見所



すすくの森

那珂川町中心部の北側、約 60haの丘陵地に広がる山林公園です。アカマツやコナラを中心とした里山の風景を満喫できるだけでなく、遠く日光連山や那須高原が望めます。公園内には森林展示館、環境に配慮したトイレ、四阿のほか周回遊歩道が整備されており、乾徳寺や静神社への散策も楽しめます。



武茂(むも)城跡

武茂城は鎌倉末期の正応年間(西暦 1288~93年)に宇都宮左衛尉景綱の3男泰宗が築城したと伝えられています。菩提所である乾徳寺を中心に東西の山に位置しており(面積は4haに及ぶ)、静神社社殿のある場所より北側一帯が主郭部になります。現状が山林のため遺構は良好に残され、中世山城の原型をよく留めています。県指定の史跡になっています。



広重美術館

正式名称は「那珂川町馬頭広重美術館」です。自然豊かな那珂川町の景観を考慮し、切妻の大屋根を採用した平屋建てとなっています。また、内装は地元の材を意識的に使い、壁は烏山和紙、床は芦野石となっています。所蔵品中心の企画展を年10回程度行っており、1年に1度の特別展も開催しています。



唐(から)の御所

雑木林の山腹に露頭した凝灰岩に大小60余りの横穴(石室)があります。横穴は南に向いて開口し、内部は横穴式石室と同様に玄室、玄門、義道及び前庭があります。玄室全体が一戸の住宅を思わせる構造で、天井は中央に棟木をつくりだし、左右に切妻屋根に似た傾斜があります。国指定の史跡になっています。

問い合わせ

栃木県環境森林部自然環境課 自然公園担当
栃木県県北環境森林事務所 環境企画課
那珂川町役場 農林振興課

〒320-8501 宇都宮市埴田 1-1-20 TEL.028-623-3206
〒324-0056 大田原市中央 1-9-9 TEL.0287-23-6363
〒324-0692 那須郡那珂川町馬頭 409 TEL.0287-92-1113